

つ っなげよう未来へ！
し 市民協働による
ま まちづくり



令和元年度

組 織 目 標

～ 「協働型市政の確立」を目指して～



長崎県対馬市

… 自立と循環の宝島 対馬 …

～ 目 次 ～

| | | | |
|----|-----------|------------|----|
| I | 組織目標（概要版） | ・・・・・・・・・・ | 1 |
| II | 組織目標（個票） | ・・・・・・・・・・ | 6 |
| 1 | 総務部 | ・・・・・・・・・・ | 6 |
| 2 | しまづくり推進部 | ・・・・・・・・・・ | 10 |
| 3 | 観光交流商工部 | ・・・・・・・・・・ | 17 |
| 4 | 市民生活部 | ・・・・・・・・・・ | 23 |
| 5 | 福祉保険部 | ・・・・・・・・・・ | 26 |
| 6 | 健康づくり推進部 | ・・・・・・・・・・ | 28 |
| 7 | 農林水産部 | ・・・・・・・・・・ | 30 |
| 8 | 建設部 | ・・・・・・・・・・ | 37 |
| 9 | 水道局（部） | ・・・・・・・・・・ | 39 |
| 10 | 中対馬振興部 | ・・・・・・・・・・ | 41 |
| 11 | 上対馬振興部 | ・・・・・・・・・・ | 42 |
| 12 | 消防本部 | ・・・・・・・・・・ | 44 |
| 13 | 教育委員会事務局 | ・・・・・・・・・・ | 47 |

令和元年度 対馬市組織目標（概要版）

1 総務部

① 情報発信の強化と広聴機会の開催

市政への関心を高めるとともに行政を身近に感じてもらうため、行政情報の発信を強化します。また、市長への提言や意見交換など訪問型スタイルの広聴機会を設け、市民の声を市政に反映させる市民協働のまちづくりを推進します。

② 安心安全のまちづくりの推進

洪水、豪雨、高潮、地震等の災害に対して、地域住民の自助・共助による取り組みを促進するとともに、防災・災害対策に取り組む組織的な体制を整備することにより、安心安全のまちづくりを進めます。

③ 健全な財政運営の執行と財政状況のわかりやすい公表

市の財政状況や予算・決算などについて、広報・ホームページにわかりやすい形で掲載し、市の財政状況に関する市民の理解を深められるように努めます。

④ 入札・契約の適正化

常に入札契約制度の検証を行い、公正性の確保・客観性・透明性の向上に努めるとともに、現下の経済情勢を考慮し、国・県の動向と歩調が合う落札率となるよう運用を図ります。また、入札参加資格者申請や業者の格付けについても検証し、必要に応じて改めるよう努めます。

2 しまづくり推進部

① 第2次対馬市総合計画の進捗管理の実施

第2次対馬市総合計画を推進するため、外部委員で組織する総合計画審議会において、各施策の進捗状況や目標の達成状況、事業内容について検証し、見直しに向けて取り組みます。

② 対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証及び戦略の策定

「対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の5年間の実績に基づき各分野の達成度等の効果検証を行い、未達分野における新規施策、事業等を検討し、人口減少抑制のための第2期戦略を策定します。

③ 国際航路の国内旅客混乗便の利用促進

福岡市と釜山市を結ぶ国際航路船へ国内旅客を相乗りさせる混乗便は、対馬北部市民の生活利便性の向上と福祉の充実を図ることを目的とし、運行を開始しています。しかし、平均乗船率は目標に達しておらず、このままでは存続できない可能性があるため、周知等を徹底し、利用促進を図ります。

④ 様々な機関や業種団体と連携した産業の振興

事業者団体、金融機関、大学などの研究機関、行政、その他産業振興に携わる団体等で構成する「対馬市創業支援会議」において、創業を希望する方を多方面から総合的に支援し、産業振興と雇用の増加による地域の活性化を目指します。

⑤ 大学と地域との連携推進（域学連携）

大学が身近に無い対馬において、大学を身近に感じられるような環境を整え、都市部学生の若い力や教員の知識・ノウハウ等によってしまづくりの後押しをしていただくとともに、しまづくりを担う移住定住人材の誘引、対馬ファン・リピーターを確保することで、対馬の新たな価値と産業の創造を図ります。

⑥ 地域マネージャー活動の活性化事業

地域課題の多様化・複雑化などを背景に、地域マネージャー制度が掲げた役割を果たすことができていない地域も見受けられるため、地域や従事する職員の実情を考慮し、社会環境変化に対応できる制度へ見直し、地域課題解消に向けて活動を活性化していきます。

⑦ U・Iターン推進事業

対馬市への移住を促進するために設置した、ワンストップ窓口「しまぐらし応援室」を活用し、移住・定住補助金の交付、移住者用住宅を確保するなどの各種施策を実施するとともに、各種移住相談会へ参加し、移住希望者へ情報発信を行います。

3 観光交流商工部

① 観光客の受入体制の整備

「国境サイクリングIN対馬」を開催し、国内外のサイクリストに対馬の豊かな自然や独自の風土を体感していただくことで、新たな観光資源の発掘と人口交流の拡大を図ります。

② 地場製品の更なる消費拡大への取組み

物産展等の継続開催や出展はもとより、「よりあい処つま」を活用し、特産品の販路拡大や対馬産品取扱店舗拡大に取り組めます。

③ 新規参入事業者の誘致と既存事業者への支援による商工業の活性化

人手不足の商店などにキャッシュレス決済機器等の導入を推進し、消費拡大や生産性が向上する増益策を講じ、市内産業の振興を図ります。

④ 国際交流イベントや朝鮮通信使行列の世界記憶遺産登録を活用した交流人口拡大

国際交流イベントや世界記憶遺産登録関連イベント等の開催により、国内外へ対馬をアピールし、交流人口の拡大を図ります。

⑤ ツシマヤマネコ・生物多様性保全活動の推進

ツシマヤマネコ等希少種の保護・啓発活動を実施します。また、特定外来生物の市民参加型防除活動、調査を併せて行います。

⑥ 対馬固有の遺跡や文化財の保存・活用

対馬博物館の整備推進を行います。また、対馬博物館（仮称）の開館を見据え、博物館の魅力を市内外へ発信します。

4 市民生活部

① 滞納処分の強化

厳正な滞納処分を実施するため、積極的に財産、預貯金及び生命保険等の調査を行い、差押えの実施および滞納処分の停止等滞納整理の強化を図ります。また、新規滞納者への早期接触を図り、滞納の抑制に努めます。

② 各種団体が連携したリサイクル、ゼロ・エミッションの推進

生ごみ等資源の再利用システム事業に取り組むとともに、生ごみ堆肥化協力世帯の募集及び事業内容を周知し、ごみ総排出量の削減を図ります。

③ 漂流・漂着ごみの回収と発生抑制対策の推進

漂着物被害が著しい海岸を中心に、海岸漂着物の円滑な回収、処理を進めていきます。また、海岸漂着物等の発生抑制のための関係者間の連携・交流等を目的とした環境学習を広く開催します。

5 福祉保険部

① 高齢者の生きがい創出（シルバー人材センターの拡充）

高齢者の豊かな経験・知識や技能を活かせる一時的・短期的な就業の場を提供することで「生きがい」の確保や福祉の増進を図り、高齢者の能力を大いに発揮できる活力ある地域社会づくりを目指して、会員の確保及び業務の拡大を推進します。

② 入所保留（待機）児童の解消

保育所入所への需要は年々増加傾向にあり、今後も継続すると考えられ、施設の面積要件や慢性的な保育士不足に起因する入所保留（待機）児童の解消を図り、子育てしやすい環境を整備します。

6 健康づくり推進部

① 特定健診の受診率向上

第2次健康つしま21計画を推進するために、第3期特定健診等実施計画に基づき、引き続き健康への意識づけを行い、受診率の向上を目指し、健康寿命の延伸につなげます。

② 認知症ケア向上研修事業の実施

認知症になっても、住み慣れた地域で生活を送るためには、家族、住民、病院、施設の理解が必要となるため、認知症ケア向上研修事業に取り組みます。

7 農林水産部

① 対馬しいたけ振興事業

対馬しいたけの生産量は、担い手不足等により年々減少している状況なので、高齢者及び新規参入者の技術支援を行います。

② 対馬猪鹿活用促進事業

防護柵の位置情報、捕獲情報等の有害鳥獣対策の現状を地域住民にフィードバックするための学習会を実施し、被害対策についての正確な情報提供に努めます。また、被害対策の普及啓発を目的に、精肉、食肉加工品、皮革製品等の資源活用を通じて、食べること、使うことからイノシシ・シカ対策に関わる市民を増やします。

③ 学校給食地場農林水産物導入事業

学校給食での食材供給について、特産・奨励品である椎茸、あか牛や、猪鹿肉とその加工品をはじめたまねぎ・じゃがいも等の地場産野菜の消費量を増やす取組みを支援します。

④ 島内での供給システムの構築

生産者と販売業者の双方が、新鮮で豊かな食材を地元へ気軽に提供するため、一体化した島内供給システムを構築することにより、観光消費も含めた島内消費額の拡大を図ります。

⑤ 水産物の輸送費補助

水産物を島外へ出荷する際及び餌移入に係る輸送コストを財政的に支援することで、漁業者の所得減少に歯止めをかけ、漁業の発展へつなげます。

⑥ 対馬らしい海洋保護区の設定

水産資源の持続的利用と伝統的な漁業の継承を図るために「海洋保護区」の設定を目指します。科学委員会からの答申や漁業者、関係団体等からの意見を検討し、区域の設定や区域内の資源管理計画を策定して、国や県などに働きかけ、海洋保護区の設定を目指します。

⑦ 基盤整備工事の早期発注、早期完成

農林道整備、漁港漁場整備等は、第一次産業の基盤整備として業務効率化・省力化により生産性の向上を目的とするものであり、計画的な発注を行い年内の委託業務完了及び工事の執行100%を目指します。

8 建設部

① 市営住宅使用料未収金の縮小

市営住宅使用料について、受益負担の原則、負担の公平性の観点から、文書による督促事務や長期滞納者に対する文書による確約等を締結しての分納指導、また、確約不履行等の悪質滞納者には、裁判所による明け渡し命令等の法的手続きを取るなど、未収金の縮小に努めます。

② 公共工事の早期発注・早期完成

公共工事の早期着工に努めることにより、市の経済流通の初動を促進し市民生活の活性化とともに、早期完成によって市民の生活基盤の底上げを図ります。

9 水道局（部）

① 水道料金の収納率向上

水道料金の収納率向上は、経営の効率化と安定化のためには喫緊の課題であり、新規滞納者の減少、納付確約（分納）者の取り組み強化、給水停止措置の強化に取り組みます。

② 水道事業の有収率向上

浄水場で清浄化された水の3割以上が漏水している現状にあることから、水道事業の経営安定化を図るために、年次的に配水管等の漏水対策を実施し、有収率の向上に努めます。

10 中対馬振興部

① 中対馬未来づくりアクションプランの推進

平成30年3月に策定した「中対馬未来づくりアクションプラン」の各種事業を推進し、リトリート、アクティビティの創出による観光客をきっかけとした活性化・地域振興を目指します。

11 上対馬振興部

① 対馬の自然を活かした観光地の整備

日本の渚100選である三宇田浜のロケーションを活かし、施設利用者のニーズに対応したキャンプ施設の改修に取り組みます。

② 公共工事の早期発注・早期完成

地域経済の活性化と島内交通の利便性の向上を図るために、公共工事の早期発注及び早期完成に取り組みます。

12 消防本部

① 地区消防団員の増員、車両の適正配備及び資機材の充実整備

消防団員の実員数は、依然として定数を割り込んでいる状況であるため引き続き基本消防団員の増員を図り、併せて、消防団車両の適正配備及び資機材の充実整備を計画的に行います。

② 応急手当の普及啓発活動

応急手当の重要性について、年間を通してCATV、広報で周知し、広く応急手当等の普及啓発活動を進め、救命率の向上を図ります。

③ 違反公表制度開始に伴う消防用設備等設置指導

違反の存する防火対象物に対し、早期の査察を実施します。また、重大違反防火対象物に対し、公表後の違反処理への移行等を十分説明し、消防用設備等を早期設置するよう指導します。

13 教育委員会事務局

① 島っこ留学制度による留学生の招致推進

島外から市内の小中学校への留学生を3名以上招致するため、体験学習や広報啓発活動を実施するとともに、モデル地域において受入体制を整備します。

② ふるさと対馬を愛し、豊かな心と確かな学力を身に付けた子どもの育成

確かな学力を身に付け、心豊かでたくましく、郷土を愛する児童生徒の育成に努めます。また、生徒指導、特別支援教育及び幼稚園・こども園教育の充実や、校種間連携、地域との連携強化にも取り組めます。

③ 地域の特性を活かした生涯学習の推進

対馬ならではの「しま」体験活動を実践し、地域教育力の向上と島の活性化を図ります。

④ 対馬藩関連遺産群保存活用計画の策定

対馬藩関連遺産群のうち、金石城跡、旧金石城庭園の今後の保存・整備活用の方針を定めた保存活用計画を策定します。

⑤ 赤米サミット・赤米交流事業の開催

岡山県総社市、鹿児島県南種子町、対馬市の関係者が一堂に会し、保存と活用について語り合い、友好と交流を深めるため、赤米サミットを開催します。また、「赤米交流事業」を実施します。

| | |
|----|-------|
| 全体 | 1 |
| 個別 | 01-01 |

令和元年度 [総 務 部] 組織目標

| | |
|-----|-------|
| 課 名 | 総 務 課 |
|-----|-------|

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|-------------|----|------------|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 総合計画 の区分 | 挑 戦 | つながりづくり | | | | | | | | | | | |
| | 最優先課題 | 人と人のつながりを守る | | | | | | | | | | | |
| 項 目 | 情報発信の強化と広聴機会の開催 | | | | | | | | | | | | |
| 内 容 | <p>市政への関心を高めるとともに行政を身近に感じてもらうため、対馬市CATVを活用した「おしえて！市役所さん」を引き続き放送するとともに、新たにSNSを活用し、行政情報の発信を強化します。</p> <p>また、市長への提言や意見交換などにより、市民の声を市政に反映させる、市長へ提言「かっちえて！しまづくり」及び地域よりあいde「ざっくばらん」の定期的な開催に加え、新たな広聴機会を確立し、市民協働のまちづくりを推進します。</p> <p>○ SNSを活用した行政情報発信の強化 SNSを活用した情報発信体制を構築し、市内外への情報発信強化を図ります。</p> <p>○ 新たな広聴機会の確立 小中学校や子育てサークル、老人クラブなど定期的かつ精力的に活動している団体へおじゃまし、地域づくりなどについて意見交換を行います。</p> | | | | | | | | | | | | |
| 指 標 (数値目標) | <p>○ SNSを活用した情報発信体制の確立</p> <p>○ 新たな広聴機会の実施：年3回</p> | | | | | | | | | | | | |
| 達成時期 | 令和2年3月 | | | | | | | | | | | | |
| スケジュール | 取り組み | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| | SNSを活用した情報発信体制の確立 | | | 検討協議・職員研修等 | | | | | | | 導入 | | |
| | 新たな広聴機会の実施 | | | 協議検討 | | | ● | ● | | ● | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 2 |
| 個別 | 01-02 |

令和元年度 [総 務 部] 組織目標

| | |
|-----|-------|
| 課 名 | 総 務 課 |
|-----|-------|

| | | |
|---------------|---|-------------|
| 総合計画 の区分 | 挑 戦 | ふるさとづくり |
| | 最優先課題 | 安心安全のインフラ整備 |
| 項 目 | 安心安全のまちづくりの推進 | |
| 内 容 | <p>洪水、豪雨、高潮、地震等の災害に対して、地域住民の自助・共助による取り組みを促進するとともに、防災・災害対策に取り組む組織的な体制を整備することにより、安心安全のまちづくりを進めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自主防災活動を支えるネットワークの構築 2. 防災関係の各種計画・例規等の整備 3. 「空家等対策計画」の作成 | |
| 指 標 (数値目標) | <ol style="list-style-type: none"> 1. 自主防災活動を支えるネットワークの構築 地区単位での自主防災活動に取り組む環境づくりのため、市内の自主防災組織関係者や防災士資格保持者など、地域防災の中核を担う人材のネットワークを構築します。 2. 防災関係の各種計画・例規等の整備 災害時職員初動マニュアルをはじめ、業務継続計画その他の関係規程・マニュアル等を順次整備し、地域防災計画の改正につなげます。 3. 「空家等対策計画」の作成 「空家等対策計画」を作成し、空き家問題に対する市の体制を整えます。 | |
| 達成時期 | 令和2年3月 | |

| スケジュール | 取り組み | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----------------|---------------------|--------------|----|-------------|----|----|----|-----|-----|-----|----|------|----|
| | 自主防災活動を支えるネットワークの構築 | | → | | | | | | | | | | |
| 災害時職員初動マニュアルの整備 | | 初動マニュアル | | → 業務継続計画の作成 | | | | | | | | | |
| 「空家等対策計画」の作成 | | ← 関係者との協議・調整 | | | | | | | | | | ← 作成 | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 4 |
| 個別 | 01-04 |

令和元年度 [総 務 部] 組織目標

| | |
|-----|-------|
| 課 名 | 財 政 課 |
|-----|-------|

| | | |
|---------------|--|-----|
| 総合計画 の区分 | 挑 戦 | 対象外 |
| | 最優先課題 | 対象外 |
| 項 目 | 入札・契約の適正化 | |
| 内 容 | <p>常に入札契約制度の検証を行い、公正性の確保・客観性・透明性の向上に努めます。また、現下の経済情勢を考慮し、国・県の動向と歩調が合う落札率となるよう運用を図ります。</p> <p>また、現在の入札参加資格者申請及び業者の格付けについて検証し、必要に応じ改めるよう努めます。</p> | |
| 指 標 (数値目標) | <ul style="list-style-type: none"> 最低制限基礎価格の乗率を建設工事については90%、コンサル業務、役務については75%とすることを継続し、適正な落札率となるよう運用を図ります。 現在の入札参加資格者申請について、検証を行い、必要に応じて改めます。また、業者の格付けについても検証し、必要に応じて改めます。 当初発注予定工事公表分（61件）の入札実施目標 <ul style="list-style-type: none"> 第1四半期 10件 第2四半期 47件 第3四半期 3件 第4四半期 0件 随意契約 1件 平成27年度より入札時に提出を義務づけた工事費内訳書について、引き続き制度の周知徹底に努めます。 | |
| 達成時期 | 令和2年3月 | |

| スケジュール | 取り組み | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------------|------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| | 入札・契約制度の検証 | | | | | | | | | | | | |
| 入札参加資格者申請の検証 | | | | | | | | | | | | | |
| 業者の格付けの検証 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 5 |
| 個別 | 02-01 |

令和元年度 [しまづくり推進部] 組織目標

| | |
|----|-------|
| 課名 | 政策企画課 |
|----|-------|

| | | |
|---------------|--|--|
| 総合計画 の区分 | 挑 戦 | 対象外 |
| | 最優先課題 | 対象外 |
| 項 目 | 第2次対馬市総合計画の進捗管理の実施 | |
| 内 容 | 平成28年度から開始した第2次対馬市総合計画を推進するため、外部委員で組織する総合計画審議会において、各施策の進捗状況や目標の達成状況、事業内容について検証し、計画の見直しに向けて取り組みます。 | |
| 指 標 (数値目標) | 【達成年度】 ●施策の進捗状況・目標の達成状況の把握、事業内容の検証 ⇒総合計画審議会の開催1回 ●計画の達成年度：中間 令和2年度、最終 令和7年度 【今年度】 ●計画の期間：平成28年度～令和7年度の10年間 ●計画の見直し：令和2年度 | |
| 達成時期 | 令和3年3月 | |
| スケジュール | 取組み | 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 |
| | 総合計画審議会の開催 | ● |
| | 平成30年度事業実績の調査 | ➡ |
| | 平成31年度事業計画の調査 | ➡ |
| | 総合計画における各施策の実施 | ➡ |
| | 計画見直しに向けた事前検討 | ➡ |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 6 |
| 個別 | 02-02 |

令和元年度 [しまづくり推進部] 組織目標

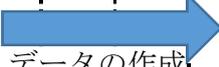
| | |
|----|-------|
| 課名 | 政策企画課 |
|----|-------|

| | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|---|---------------|----|-----------------------|----|----|----|-----|-----|-----|---------|----|----|--|
| 総合計画 の区分 | 挑戦 | ひとづくり、なりわいづくり | | | | | | | | | | | | |
| | 最優先課題 | 複数（人口減少対策） | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 第1期対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証及び第2期戦略の策定 | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ●「第1期対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の5年間の実績に基づき各分野の達成度等の効果検証を行います。 ●上記の結果を基に未達成分野における新規施策、事業等を検討し、人口減少抑制のための令和2年度から5ヶ年間の「第2期対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。 | | | | | | | | | | | | | |
| 指標 (数値目標) | <p>【達成年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●戦略の期間：第1期戦略（平成27年度～令和元年度） ●最終的なKPIの達成年度：令和元年度 ●第2期総合戦略の策定：期間（令和2年度～令和6年度） <p>【今年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第1期総合戦略に掲げる施策の実施状況、各重点戦略に掲げるKPIの達成状況の把握と検証⇒総合戦略推進会議の開催1回 ●第2期総合戦略策定⇒総合戦略推進会議の開催3回 ●KPI達成のための地方創生推進交付金の新規申請件数3件 | | | | | | | | | | | | | |
| 達成時期 | 令和3年3月 | | | | | | | | | | | | | |
| スケジュール | 取り組み | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| | 総合戦略推進会議の開催 | | | ● | | | ● | | ● | | ● | | | |
| | 市議会全員協議会の開催 | | | ● | | | | | | ● | | | | |
| | 第2期総合戦略策定に向けた庁内会議及び調査 | | | → | | | | | | | | | | |
| | 令和2年度地方創生推進交付金新規事業の活用 | | | 各課への申請予定事業調査及び国への事前相談 | | | | | | | → 国への申請 | | | |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 7 |
| 個別 | 02-03 |

令和元年度 [しまづくり推進部] 組織目標

| | |
|----|-------|
| 課名 | 政策企画課 |
|----|-------|

| | | |
|---------------|--|---|
| 総合計画 | 挑 戦 | つながりづくり |
| の 区 分 | 最優先課題 | 島内外の移動手段を確保する |
| 項 目 | 国際航路の国内旅客混乗便の利用促進 | |
| 内 容 | <p>釜山と福岡間を結ぶ国際航路へ国内旅客を相乗りさせる混乗便は、対馬北部市民の生活利便性の向上と福祉の充実を目的に運航を開始し、対馬北部からの交通手段として大きな役割を果たしています。</p> <p>しかし、平均乗船率は当初の目標に達していないことから、定期航路として運航ができず、このままの乗船率が続くと存続が難しくなります。</p> <p>そのため、本航路の利用促進と対馬北部への国内旅客の誘客を目的として、福岡市を中心としたテレビ、ラジオやデジタルサイネージを活用して周知を行います。</p> | |
| 指 標 (数値目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・九州郵船（株）、JR九州高速船（株）、対馬市の3者でその他利用促進についての協議を実施 ・九州運輸局との協議及び相談 ・島外国内旅客へ向けた周知 ・利用客が多く見込まれる期間前に、島外旅客に向けて周知を行います。 ・平均乗船率を上げます。 ・定期ダイヤで運航します。 | |
| 達成時期 | 令和2年3月 | |
| スケジュール | 取り組み | 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 |
| | 航路事業者との協議 |  打合せ |
| | 画像、音声データの作成 |  データの作成 |
| | 島外への国内旅客向け周知 |  周知 |
| | 3者協議 |  その他利用促進について協議 |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 8 |
| 個別 | 02-04 |

令和元年度 [しまづくり推進部] 組織目標

| | |
|----|---------|
| 課名 | しまの力創生課 |
|----|---------|

| | | |
|---------------|---|---|
| 総合計画 | 挑 戦 | なりわいづくり |
| の 区 分 | 最優先課題 | ワクワクする新しい仕事の創造 |
| 項 目 | 様々な機関や業種団体と連携した産業の振興 | |
| 内 容 | <p>事業者団体、金融機関、大学などの研究機関、行政、その他産業振興に携わる団体等で構成する「対馬市創業支援会議」において、創業を希望する方を多方面から総合的に支援し、産業振興と雇用の増加により地域の活性化を目指します。</p> <p>また、有人国境離島法に基づく雇用機会拡充支援事業補助金を交付し、雇用を伴う創業や事業拡大を行う民間事業者の支援を行います。</p> | |
| 指 標 (数値目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・ワンストップ相談窓口等での相談受付 : 40件 ・創業の目標件数 : 8件 ・被雇用者の増加目標人数 : 24名 <p>※ 創業等支援事業と雇用機会拡充支援事業の合計での目標数値</p> | |
| 達成時期 | 令和2年3月 | |
| スケジュール | 取り組み | 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 |
| | ワンストップ相談窓口等の相談受付 |  |
| | 創業支援セミナー |  |
| | | |
| | | |
| | | |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 9 |
| 個別 | 02-05 |

令和元年度 [しまづくり推進部] 組織目標

| | |
|----|---------|
| 課名 | しまの力創生課 |
|----|---------|

| | | |
|---------------|---|-------------|
| 総合計画 | 挑 戦 | ひとつづくり |
| の 区 分 | 最優先課題 | 外から若者を招き入れる |
| 項 目 | 大学と地域との連携推進（域学連携） | |
| 内 容 | <p>大学が身近に無い対馬において、大学が身近に感じられるような環境を整え、都市部学生の若い力や教員の知識・ノウハウ等によって島づくりの後押しをしていただくとともに、島づくりを担う移住定住人財の誘引、対馬ファン・リピーターの確保を行うことで、対馬の新たな価値と産業を創造します。</p> | |
| 指 標 (数値目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・学生の受入数 500名 ・大学教員（研究者）の受入数 100名 ・リピート学生の受入数 200名 ・学生卒業後の移住定住数 年1～2名 ・せんだんご速醸実証の成功 (酵素・麹カビ両方の方法で2週間程度でせんだんごづくり完了) | |
| 達成時期 | 令和2年3月 | |

| スケジュール | 取り組み | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------------------------|--------|---------|-------|----|--------------------|------|----|-----|------|-----|----|-------|----|
| | 学術研究奨励 | | 公募・審査 | | | 研究活動 | | | 島内発表 | | | 成果まとめ | |
| 島おこし実践塾 | | | | | | ● | ● | | | | | | |
| 学生実習・インターンシップ | | | | | ← 立教・文教・釜山外国語大学等 → | | | | | | | | |
| せんだんご速醸実証 | | | | | | ● | | ● | | ● | | | |
| 対馬学フォーラム (対馬への成果発表の場) | | | | | | | | | | ● | | | |
| 大学の合宿、調査研究等の受入 | | ← 県立大 → | | | 県立大・立大等 | | | → | | | | | |
| 域学連携推進強化意見交換会 | | | | | ● | | | ● | | | | | |
| | | | | | 第1回 | | | 第2回 | | | | | |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 10 |
| 個別 | 02-06 |

令和元年度 [しまづくり推進部] 組織目標

| | |
|----|---------|
| 課名 | しまの力創生課 |
|----|---------|

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|--------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 総合計画 | 挑 戦 | つながりづくり | | | | | | | | | | | |
| の 区 分 | 最優先課題 | 人と人とのつながりを守る | | | | | | | | | | | |
| 項 目 | 地域マネージャー活動活性化事業 | | | | | | | | | | | | |
| 内 容 | <p>「地域自らが考える将来ビジョン」である『地域づくり計画』は181行政区中89行政区分30計画、『行動宣言』は99行政区分55宣言の策定に留まっています。これは、地域課題の多様化・複雑化などが主な要因と考えられます。</p> <p>29年度に担当校区を再配置するなど地域と地域マネージャーが「つながる」しかけ作りを行い、30年度には「話し合いの大切さ」を認識するための研修会を開催しました。今後も引き続き「つなげるためにつながる」をテーマに制度活性化に向けて情報提供や情報共有を図ります。</p> <p>また、わがまち元気創出支援事業を含めた地域支援策の洗い出しを行い、地域の現状に即した新たな地域支援策を検討します。</p> | | | | | | | | | | | | |
| 指 標 (数値目標) | <ul style="list-style-type: none"> 定期的に校区会議を開催し、情報提供及び情報共有に努めます。 地域マネージャーと地域との「つながり状況」を定期的に把握し必要に応じてサポートを行います。 対馬市市民協働（共働）推進本部会議を開催し、全庁的な活性化に向けた気風をつくります。 「地域づくり計画」「行動宣言」の新規策定 10地区 | | | | | | | | | | | | |
| 達成時期 | 令和2年3月 | | | | | | | | | | | | |
| スケジュール | 取り組み | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| | 校区会議・研修会 | | | ● | | | | | | | ● | | |
| | 地域マネージャー活動状況把握およびサポート | → | | | | | | | | | | | |
| | 対馬市市民協働（共働）推進本部会議開催 | | | | | | ● | | | | | | |
| | 新たな地域支援策の検討 | → | | | | | | | | | | | |
| | 先進地視察 | | | ● | | | | | | | | | |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 12 |
| 個別 | 03-01 |

令和元年度 [観光交流商工部] 組織目標

| | |
|----|-------|
| 課名 | 観光商工課 |
|----|-------|

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--|--------------|----|----|----|----|----|--------------|-----|-----|----|----|----|
| 総合計画 | 挑 戦 | なりわいづくり | | | | | | | | | | | |
| の 区 分 | 最優先課題 | 観光客の誘致による活性化 | | | | | | | | | | | |
| 項 目 | 観光客の受入態勢の整備 | | | | | | | | | | | | |
| 内 容 | <p>「国境サイクリング I N対馬」を開催し、国内外のサイクリストの方々に、対馬の豊かな自然や独自の風土を体感していただくことで、新たな観光資源の発掘と人口交流の拡大を図ります。</p> <p>また、観光客の利便性向上を図るため、観光施設等のトイレの洋式化を実施します。</p> | | | | | | | | | | | | |
| 指 標 (数値目標) | <ul style="list-style-type: none"> ◆国境サイクリング I N対馬 参加者 1 2 0 名 ◆観光施設のトイレの洋式化 5 箇所 | | | | | | | | | | | | |
| 達成時期 | 令和2年3月 | | | | | | | | | | | | |
| スケジュール | 取り組み | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| | 国境サイクリング | | | | | | | 開催日 10/19 | | | | | |
| | トイレ洋式化 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 15 |
| 個別 | 03-04 |

令和元年度 [観光交流商工部] 組織目標

| | |
|----|------------|
| 課名 | 文化交流・自然共生課 |
|----|------------|

| | | |
|---------------|--|---|
| 総合計画 | 挑 戦 | なりわいづくり |
| の 区 分 | 最優先課題 | 観光客の誘致による活性化 |
| 項 目 | 国際交流イベントや朝鮮通信使行列の世界記憶遺産登録を活用した交流人口の拡大 | |
| 内 容 | <p>①対馬厳原港まつりにおける朝鮮通信使行列の再現、対馬アートファンタジアの開催支援を行い交流人口の拡大を行います。</p> <p>②日本遺産史跡解説のための看板を設置します。</p> <p>③旅行社（者）へのマナー向上、ルール遵守を徹底させ、市民の理解の促進を図ります。</p> <p>④朝鮮通信使を活用したまちづくり事業（施設整備等）を実施します。</p> | |
| 指 標 (数値目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝鮮通信使行列再現への参加者数 300人 ・ 日本遺産PR用看板等設置 4カ所 ・ 添乗員、ガイド研修実施 25人 ・ 朝鮮通信使によるまちづくり事業 （通信使キャラクターグッズ作成、案内板設置、歴史マンガ、島内PR事業、トラックラッピング） ・ 朝鮮通信使行列に係る資料館建設事業の着手 | |
| 達成時期 | 令和2年3月 | |
| スケジュール | 取り組み | 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 |
| | 交流イベント | 行列再現 アートファンタジア |
| | 日本遺産 | 看板設置 |
| | 朝鮮通信使によるまちづくり事業 | 島内PR事業 キャラクターグッズ、案内板、トラックラッピング・マンガ作成 |
| | 資料館建設設計事務 | 設計 |
| | | 実施 |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 16 |
| 個別 | 03-05 |

令和元年度 [観 光 交 流 商 工 部] 組 織 目 標

| | |
|-----|------------|
| 課 名 | 文化交流・自然共生課 |
|-----|------------|

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|---------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|---|
| 総合計画 | 挑 戦 | ふるさとづくり | | | | | | | | | | | | |
| の 区 分 | 最優先課題 | 自然の保全と持続可能な利用 | | | | | | | | | | | | |
| 項 目 | ツシマヤマネコ・生物多様性保全活動の推進 | | | | | | | | | | | | | |
| 内 容 | ツシマヤマネコ等希少種の保護・啓発活動を実施します。また、特定外来生物の市民参加型防除活動、調査を行います。 | | | | | | | | | | | | | |
| 指 標 (数値目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・ワイヤーメッシュによるツシマウラボシシジミ保全区域 1カ所 ・全国の動物園等における対馬の自然普及啓発事業 2カ所 ・市民参加型ツマアカスズメバチ捕獲罠設置 2,000カ所 ・ツマアカスズメバチ化学的防除手法の試行 5地区 | | | | | | | | | | | | | |
| 達成時期 | 令和2年3月 | | | | | | | | | | | | | |
| スケジュール | 取り組み | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| | ツシマウラボシシジミ保全区域設置 | | | | | ←→ | | | | | | | | |
| | 全国動物園での普及啓発活動 | ← | | | | | | | | | | | | → |
| | 市民参加型ツマアカスズメバチ捕獲罠設置 | ←→ | | | | | | | | | | | | |
| | ツマアカスズメバチ化学的防除手法の試行 | | | ← | | | | | | | | | | → |
| | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 17 |
| 個別 | 03-06 |

令和元年度 [観 光 交 流 商 工 部] 組 織 目 標

| | |
|-----|-----------------|
| 課 名 | 博 物 館 建 設 推 進 課 |
|-----|-----------------|

| | | |
|---------------|---|--|
| 総合計画 | 挑 戦 | ふるさとづくり |
| の 区 分 | 最優先課題 | 歴史・文化を未来に残す |
| 項 目 | 対馬固有の遺跡や文化財の保存・活用 | |
| 内 容 | 1 対馬博物館（仮称）施設の整備推進を行います。 2 対馬博物館（仮称）の開館を見据え、博物館や対馬の文化財の魅力を市内外に発信します。 3 博物館開館準備のため、博物館に収蔵する資料の選定と整理を実施します。 | |
| 指 標 (数値目標) | 【達成年度】 令和2年度 1 対馬博物館（仮称）の完成（竣工） 【今年度】 1 ① 既存施設の解体 ② 交流棟ゾーン建設工事の実施 ③ 博物館施設駐車場の整備 2 ① 対馬市ホームページやSNSを利用した情報の発信 ② 博物館に関するシンポジウム及び講演会の開催 各1回/年 3 ① 博物館収蔵資料の選定及び整理 ② 博物館資料収蔵計画の策定 | |
| 達成時期 | 令和2年11月 | |
| スケジュール | 取り組み | 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 |
| | 既存施設の解体及び交流棟ゾーン建設工事の実施 | |
| | 施設駐車場の整備 | |
| | シンポジウム及び講演会の開催 | |
| | 博物館収蔵資料の選定及び整理 | |
| | 博物館資料収蔵計画の策定 | |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 18 |
| 個別 | 04-01 |

令和元年度 [市 民 生 活 部] 組織目標

| | |
|-----|-------|
| 課 名 | 税 務 課 |
|-----|-------|

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|-------------------|--------|---------|--------|--------|--------|---------|--------|-------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|---------|--------|
| 総合計画 の区分 | 挑 戦 | 対象外 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 最優先課題 | 対象外 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項 目 | 滞納処分の強化 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内 容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 厳正な滞納処分を実施するため、積極的に財産調査、預貯金調査、生命保険等の調査を行い、差押えの実施および滞納処分の停止等滞納整理の充実を図ります。 ・ 長期差押不動産の換価価値を精査したうえで、換価が見込まれるものは公売し、換価困難なものについては他の滞納整理方法を検討します。 ・ 軽自動車税については徴収率が他の税目と比較して低迷しているため、滞納処分の強化に加え、特に現年分の徴収を強化します。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指 標 (数値目標) | 市 税 | 現年分徴収率 | 98.50% | (前年度実績) | 98.09% | 滞納分徴収率 | 15.00% | (前年度実績) | 13.34% | 国 保 税 | 現年分徴収率 | 94.00% | (前年度実績) | 93.79% | 滞納分徴収率 | 13.00% | (前年度実績) | 11.31% |
| 達成時期 | 令和2年3月末(出納閉鎖は5月末) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| スケジュール | 取り組み | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | | | | | |
| | 徴収強化月間 | | | | | ○ | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| | 課内研修 | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 滞納処分 | 夜間窓口(月末) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 滞納処分(差押え、執行停止、公売) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 財産調査 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 19 |
| 個別 | 04-02 |

令和元年度 [市 民 生 活 部] 組織目標

| | |
|-----|-----------|
| 課 名 | 環 境 政 策 課 |
|-----|-----------|

| | | |
|---------------|---|--|
| 総合計画 | 挑 戦 | ふるさとづくり |
| の 区 分 | 最優先課題 | きれいな地域をつくる |
| 項 目 | 各種団体が連携したリサイクル、ゼロ・エミッションの推進 | |
| 内 容 | <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ等資源の再利用システム事業に取り組みます。 ・生ごみ堆肥化推進等によるごみ量の削減を行います。 ・生ごみ堆肥化協力世帯の募集及び事業内容の周知を行います。 | |
| 指 標 (数値目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量化目標 600 t 以上 ・ごみの資源化目標 60 t 以上 ・生ごみ等資源再利用システム事業の実施 (目標回収世帯数：3,000世帯) | |
| 達成時期 | 令和2年3月 | |
| スケジュー ル | 取 組 み | 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 |
| | 生ごみ等資源再利用システム事業 | |
| | 協力世帯の募集及び事業内容の周知 | |
| | | |
| | | |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 20 |
| 個別 | 04-03 |

令和元年度 [市 民 生 活 部] 組織目標

| | |
|-----|-----------|
| 課 名 | 環 境 政 策 課 |
|-----|-----------|

| | | |
|---------------|--|--|
| 総合計画 の区分 | 挑 戦 | ふるさとづくり |
| | 最優先課題 | きれいな地域をつくる |
| 項 目 | 漂流・漂着ごみの回収と発生抑制対策の推進 | |
| 内 容 | <ul style="list-style-type: none"> ・海岸漂着物処理推進法及び長崎県海岸漂着物等地域対策推進事業補助金を活用し、漂着物被害が著しい海岸を中心に海岸漂着物の円滑な回収、処理を進めます。 ・海岸漂着物等の発生抑制のための関係者間の連携・交流等を目的とした環境学習を広く開催します。（日韓市民ビーチクリーンアップ事業等） | |
| 指 標 (数値目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の回収・処理を参考に、漂着ごみの計画的な回収を実施します。 （回収・処理予定数量：トン袋で10,000袋） ・日韓市民ビーチクリーンアップ事業・日韓交流海ごみワークショップIN釜山及び漂着ごみ回収イベントを実施します。 | |
| 達成時期 | 令和2年3月 | |
| スケジュール | 取組み | 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 |
| | 漂着ごみ回収・処理の実施 | |
| | 環境学習の実施 | |
| | 日韓市民ビーチクリーンアップ事業の開催 | |
| | 日韓交流海ごみワークショップIN釜山の開催 | |
| | 漂着ごみ回収イベントの開催 | |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 23 |
| 個別 | 06-01 |

令和元年度 [健康づくり推進部] 組織目標

| | |
|----|---------|
| 課名 | いきいき健康課 |
|----|---------|

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--|--------------|----------|----|----|----|----|-----|------|-----|----|----|----|--|
| 総合計画 | 挑 戦 | つながりづくり | | | | | | | | | | | | |
| の 区 分 | 最優先課題 | 人と人とのつながりを守る | | | | | | | | | | | | |
| 項 目 | 特定健診の受診率向上 | | | | | | | | | | | | | |
| 内 容 | <p>第2次健康つしま21計画を推進するために、第3期特定健診等実施計画に基づき、市民の健康への意識づけを行い、受診率の向上を図ることで健康寿命の延伸につなげます。</p> | | | | | | | | | | | | | |
| 指 標 (数値目標) | <p>① 特定健診受診率40%を目指します。 ② 受診勧奨に努めます。 ③ 特定保健指導の実施率50%を目指します。</p> | | | | | | | | | | | | | |
| 達成時期 | 令和2年3月 | | | | | | | | | | | | | |
| スケジュール | 取り組み | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| | 集団型健診 | | ← 広報活動 → | | | | | | ● 実施 | | | | | |
| | 節目型健診 | | ← 広報活動 → | | | | | | | | | | | |
| | | | ← 実施 → | | | | | | | | | | | |
| | 個別型健診 | | ← 広報活動 → | | | | | | | | | | | |
| | | | ← 実施 → | | | | | | | | | | | |
| 特定保健指導 | | ← 実施 → | | | | | | | | | | | | |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 24 |
| 個別 | 06-02 |

令和元年度 [健康づくり推進部] 組織目標

| | |
|----|-----------|
| 課名 | 地域包括ケア推進課 |
|----|-----------|

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|--------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 総合計画 | 挑 戦 | つながりづくり | | | | | | | | | | | |
| の 区 分 | 最優先課題 | 人と人とのつながりを守る | | | | | | | | | | | |
| 項 目 | 認知症ケア向上研修事業の実施 | | | | | | | | | | | | |
| 内 容 | <p>認知症になっても、住み慣れた地域で生活を継続するためには、住民や家族、並びに介護施設や病院職員が、認知症に対する知識を学び、理解を深め、さらには、認知症になられた方への接し方・ケア技術を学ぶ必要があります。</p> <p>認知症になっても住み続けることが出来る島を目指し、住民や介護施設等の職員を対象に、認知症ケアを学ぶ機会を提供するために、認知症ケア向上研修事業に取り組みます。</p> | | | | | | | | | | | | |
| 指 標 (数値目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 広く市民を対象にした事業 <li style="padding-left: 20px;">認知症ケア技術向上講座を実施（11月） ・ 介護施設や病院等に勤務する職員を対象にした専門的的事业 <li style="padding-left: 20px;">島外の専門的な認知症ケア向上研修に参加する方への費用助成をする認知症ケア向上研修事業を実施（5名） | | | | | | | | | | | | |
| 達成時期 | 令和2年3月 | | | | | | | | | | | | |
| スケジュール | 取り組み | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| | 認知症ケア向上講座実施 | | | | | | | | ● | | | | |
| | 認知症ケア向上研修助成事業 | | | → | | | | | | | | | |
| | 認知症に関する周知 | ←→ | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 28 |
| 個別 | 07-04 |

令和元年度 [農 林 水 産 部] 組織目標

| | |
|-----|-------|
| 課 名 | 水 産 課 |
|-----|-------|

| | | |
|---------------|--|--|
| 総合計画 | 挑 戦 | なりわいづくり |
| の 区 分 | 最優先課題 | 対馬産品に高付加価値をつける |
| 項 目 | 島内での地元産鮮魚・活魚等の供給システムの構築 | |
| 内 容 | 生産者と販売業者の双方が、新鮮で豊かな食材を地元へ提供するため、一体化した島内での地元産鮮魚・活魚等の供給システムを構築することにより、観光消費も含めた島内消費額の拡大を図ります。 | |
| 指 標 (数値目標) | <ul style="list-style-type: none"> (1) 島内における飲食店や宿泊施設等への流通実態調査の実施 (2) 地域商社を核とした具体的手法の検討 (3) 島内流通実証試験の実施 | |
| 達成時期 | 令和2年3月 | |
| スケジュール | 取 組 み | 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 |
| | (1) 実態調査 |  |
| | (2) 手法検討 |  |
| | (3) 実証試験 |  |
| | | |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 29 |
| 個別 | 07-05 |

令和元年度 [農 林 水 産 部] 組織目標

| | |
|-----|-------|
| 課 名 | 水 産 課 |
|-----|-------|

| | | |
|---------------|---|--|
| 総合計画 | 挑 戦 | なりわいづくり |
| の 区 分 | 最優先課題 | 対馬産品に高付加価値をつける |
| 項 目 | 水産物の輸送費補助 | |
| 内 容 | 水産物を島外へ出荷する際及び餌移入に係る輸送コストを支援することで、漁業者の所得確保と漁業の発展へ繋がります。 | |
| 指 標 (数値目標) | 220万箱以上分の輸送及び餌移入への助成を行い、漁業者の負担軽減を図ります。 | |
| 達成時期 | 令和2年3月 | |
| スケジュール | 取り組み | 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 |
| | 輸送費補助 |  |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 31 |
| 個別 | 07-07 |

令和元年度 [農 林 水 産 部] 組織目標

| | |
|-----|-----------|
| 課 名 | 基 盤 整 備 課 |
|-----|-----------|

| | | |
|---------------|--|--|
| 総合計画 | 挑 戦 | ふるさとづくり |
| の 区 分 | 最優先課題 | 安全安心のインフラ整備 |
| 項 目 | 基盤整備工事の早期発注、早期完成 | |
| 内 容 | <p>農林道整備、漁港漁場整備等の公共工事は、第一次産業の基盤整備として、農林水産業従事者の所得向上を目指すものです。</p> <p>その中で事業の早期着工は、市の経済流通の初動を促し、市民生活を活性化させると共に、早期完成は市民の生活基盤の底上げにつながるものであり、本年度においても計画的な発注を行い年内に委託業務完了100%及び工事の執行100%に努めます。</p> | |
| 指 標 (数値目標) | <p>建設工事発注予定額 1,039百万円 建設工事発注予定件数 委託 8件 工事 17件</p> <p>1 2月 委託業務完了予定額 100%目標 (122百万円) 1 2月 委託業務完了予定件数 委託 8件 1 2月 工事執行予定額 100%目標 (917百万円) 1 2月 工事執行予定件数 工事 17件</p> | |
| 達成時期 | 令和元年12月 | |
| スケジュール | 取り組み | 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 |
| | 測量・調査・設計委託の設計書作成 | ←————→ |
| | 工事の設計書作成 | ←————→ |
| | 測量・調査・設計委託の管理及び完成 | ←————→ |
| | 工事の施工管理及び完成 | ←————→ |
| | | |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 32 |
| 個別 | 08-01 |

令和元年度 [建 設 部] 組織目標

| | |
|-----|-------|
| 課 名 | 管 理 課 |
|-----|-------|

| 総合計画 の区分 | 挑 戦 | 対象外 | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--|--|--------|--------|-----|-----|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--|
| | 最優先課題 | 対象外 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項 目 | 市営住宅使用料未収金の縮小 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内 容 | <p>対馬市営住宅家賃滞納整理事務要綱に基づき未収額の縮小に努めます。</p> <p>①滞納者には、退去者にかかわらず文書、訪問等による督促、徴収事務を行い、長期滞納者からは誓約書等の提出を求め、分納指導を実施します。特に滞納繰越分の徴収率向上に向け努力します。</p> <p>②確約不履行等の悪質滞納者には、裁判所による明け渡し命令等の法的手続きを検討します。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指 標 (数値目標) | <p>市営住宅使用料徴収率（現年分＋滞納分） 90.00%（前年度実績84.79%）</p> <p>（上段：目標、下段：実績）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>91.00%</td> <td>91.00%</td> <td>90.00%</td> <td>90.00%</td> <td>90.00%</td> </tr> <tr> <td>85.28%</td> <td>84.01%</td> <td>83.62%</td> <td>84.79%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | | H27 | H28 | H29 | H30 | R元 | 91.00% | 91.00% | 90.00% | 90.00% | 90.00% | 85.28% | 84.01% | 83.62% | 84.79% | |
| H27 | H28 | H29 | H30 | R元 | | | | | | | | | | | | | |
| 91.00% | 91.00% | 90.00% | 90.00% | 90.00% | | | | | | | | | | | | | |
| 85.28% | 84.01% | 83.62% | 84.79% | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成時期 | 令和2年3月 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| スケジュール | 取り組み | 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 納付相談 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 徴収率向上に向けた行動（臨戸訪問） | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 関係機関との協議 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 33 |
| 個別 | 08-02 |

令和元年度 [建 設 部] 組織目標

| | |
|-----|-------|
| 課 名 | 建 設 課 |
|-----|-------|

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|---------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|--|
| 総合計画 | 挑 戦 | つながりづくり | | | | | | | | | | | | |
| の 区 分 | 最優先課題 | 島内外の移動手段を確保する | | | | | | | | | | | | |
| 項 目 | 公共工事の早期発注、早期完成 | | | | | | | | | | | | | |
| 内 容 | <p>公共工事の早期着工に努めることにより、市の経済流通の初動を促進し、市民生活の活性化とともに、早期完成によって市民の生活基盤の底上げを図ります。</p> | | | | | | | | | | | | | |
| 指 標 (数値目標) | <p>1 2月末設計書作成件数及び予定額（測量・調査・設計） 4 件 13 百万円 《100%目標》</p> <p>1 2月末設計書作成件数及び予定額（工事） 12 件 411 百万円 《100%目標》</p> | | | | | | | | | | | | | |
| 達成時期 | 令和元年12月 | | | | | | | | | | | | | |
| スケジュール | 取り組み | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| | 測量・調査・設計委託の設計書作成 | | → | | | | | | | | | | | |
| | 工事の設計書作成 | | → | | | | | | | | | | | |
| | 測量・調査・設計委託の管理及び完成 | | | → | | | | | | | | | | |
| | 工事の施工管理及び完成 | | | → | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 35 |
| 個別 | 09-02 |

令和元年度 [水 道 局 (部)] 組織目標

| | |
|-----|-------|
| 課 名 | 水 道 課 |
|-----|-------|

| | | |
|---------------|---|--|
| 総合計画 の区分 | 挑 戦 | 対象外 |
| | 最優先課題 | 対象外 |
| 項 目 | 水道事業の有収率向上 | |
| 内 容 | <p>水道事業を経営していく中で、有収率（浄水場で清浄化された水量と実際に家庭等の蛇口から出て使われた水量の割合）対策は、重要な課題となっております。</p> <p>市の水道事業の有収率は、近年、70%前後で推移しており、平成30年度は、71.68%と前年度に比べ若干改善できましたが、漏水などによりまだまだ浄水場で清浄化された水の3割程が有効に活用できていない状況です。</p> <p>今後も年次的に配水管等の漏水対策を行い、引き続き有収率の向上に努めていきます。</p> | |
| 指 標 (数値目標) | <p>令和元年度有収率を、72.70%以上にします。 (平成30年度有収率：71.68%)</p> | |
| 達成時期 | 令和2年3月 | |
| スケジュール | 取り組み | 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 |
| | 漏水調査及び修理 |  |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 37 |
| 個別 | 11-01 |

令和元年度 [上 対 馬 振 興 部] 組織目標

| | |
|-----|-----------|
| 課 名 | 地 域 振 興 課 |
|-----|-----------|

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|--------------|----|----|----|----|----|--|-----|-----|----|----|----|--|
| 総合計画 | 挑 戦 | なりわいづくり | | | | | | | | | | | | |
| の 区 分 | 最優先課題 | 観光客の誘致による活性化 | | | | | | | | | | | | |
| 項 目 | 対馬の自然を活かした観光地の整備 | | | | | | | | | | | | | |
| 内 容 | <p>○三宇田キャンプ場改修 日本の渚百選である三宇田浜のロケーションを活かし、施設利用者のニーズに対応したキャンプ施設の改修に取り組みます。</p> | | | | | | | | | | | | | |
| 指 標 (数値目標) | <p>【達成年度】 全体計画：平成30年度～令和3年度</p> <p>【今年度】 ・管理棟の新設</p> | | | | | | | | | | | | | |
| 達成時期 | 令和4年3月 | | | | | | | | | | | | | |
| スケジュール | 取り組み | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| | 管理棟の新設 | | | | | | |  | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 40 |
| 個別 | 12-02 |

令和元年度 [消 防 本 部] 組織目標

| | |
|-----|-------|
| 課 名 | 警 防 課 |
|-----|-------|

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|-------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|--|
| 総合計画 | 挑 戦 | ふるさとづくり | | | | | | | | | | | | |
| の 区 分 | 最優先課題 | 安全安心のインフラ整備 | | | | | | | | | | | | |
| 項 目 | 応急手当の普及啓発活動 | | | | | | | | | | | | | |
| 内 容 | <p>昨年度の市民によるAED使用実績は1件でした。島内に設置されたAEDを有効活用するために、市民の皆様に対し、実際の市民による勇気ある行動を例に挙げながら、継続して応急手当の普及啓発活動、目標達成に取り組めます。また、CATVによる応急手当推進広報についても、内容を更新するとともに、島内における応急手当の意識向上及び救命率の向上を図ります。</p> | | | | | | | | | | | | | |
| 指 標 (数値目標) | <p>数値的な目標実績に併せて、市民の皆様が応急手当に対する理解を深め、バイスタンダーとして勇気ある手当を実施できるよう、継続して普通救命講習及び救急法等の指導推進を展開致します。</p> <p>○目標受講者数：延べ1,300名</p> | | | | | | | | | | | | | |
| 達成時期 | 令和2年3月 | | | | | | | | | | | | | |
| スケジュール | 取り組み | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| | 応急手当普及啓発 | ▶ | | | | | | | | | | | | |
| | 広報推進 | ▶ | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 42 |
| 個別 | 13-01 |

令和元年度 [教育委員会事務局] 組織目標

| | |
|----|-------|
| 課名 | 教育総務課 |
|----|-------|

| | | |
|---------------|---|--|
| 総合計画 | 挑 戦 | ひとつづくり |
| の 区 分 | 最優先課題 | 子どもを大切に育てる |
| 項 目 | 島っこ留学制度による留学生の招致推進 | |
| 内 容 | <p>「島っこ留学制度」は、豊かな学びと地域における体験活動等を願う島外の方を対象に、市内の小・中学校に入学または転学を希望される児童・生徒を受け入れ、対馬市の学校並びに地域の活性化と教育の振興・充実を図る事を目的として平成27年11月からスタートした制度です。</p> <p>複式学級の解消等も考慮し、西小校区、仁田小校区及び新たな校区での受入を推進するとともに、体験留学、広報事業の充実と里親の追加募集を行います。</p> | |
| 指 標 (数値目標) | <p>【達成年度】（総合基本計画掲載数値）</p> <p><中期目標> 令和2年度末までの留学生累計 15名</p> <p><最終目標> 令和7年度末までの留学生累計 30名</p> <p>【今年度】</p> <p>○留学生招致 3名以上（小学生若しくは中学生）</p> <ul style="list-style-type: none"> →体験留学（5組10名程度）を実施します。 →HP・SNSに重点をおいた情報発信や広報事業を実施します。 →福岡での事業説明会を実施します。 →里親を追加募集し、受入体制の整備を行います。 | |
| 達成時期 | 令和8年3月 | |
| スケジュール | 取り組み | 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 |
| | 島っこ留学推進協議会開催 | ● 第1回 (6月) ● 第2回 (9月) ● 第3回 (1月) |
| | 体験留学実施 | ● 8月9日の登校日に合わせて実施 |
| | 広報・募集活動 | |
| | 福岡事業説明会 | ● (11月) |
| | 留学生確定 | ● (2月) |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 44 |
| 個別 | 13-03 |

令和元年度 [教育委員会事務局] 組織目標

| | |
|----|-------|
| 課名 | 生涯学習課 |
|----|-------|

| | | |
|---------------|---|--|
| 総合計画 | 挑 戦 | ふるさとづくり |
| の 区 分 | 最優先課題 | 歴史・文化を未来に残す |
| 項 目 | 地域の特性を活かした生涯学習の推進 | |
| 内 容 | <p>○ しまの魅力に会う日本の宝「しま」交流支援事業対馬市コースの実施</p> <p>県内すべての子どもたちを対象として、「しま」ならではの体験を通して、島と本土の子どもたちの相互交流を深めるとともに、ふるさとを愛する心やコミュニケーション能力の育成、国境離島の重要性や必要性を認識させるような事業を実施します。</p> <p>実施期間：7月27日（土）～30日（火）</p> | |
| 指 標 (数値目標) | <ul style="list-style-type: none"> ○ 参加者数 60人（市外参加者40名、市内参加者20人） ○ 大学生ボランティア 10人 ○ 高校生ボランティア 10人 ○ 地元教職員ボランティア 5人 | |
| 達成時期 | 令和元年9月 | |
| スケジュール | 取り組み | 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 |
| | 実行委員会の開催 | |
| | 参加者募集・決定 | |
| | スタッフ手配・調整 | |
| | 交流事業実施 | |
| | 安全管理体制等構築のため関係団体との連携 | |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 45 |
| 個別 | 13-04 |

令和元年度 [教育委員会事務局] 組織目標

| | |
|----|------|
| 課名 | 文化財課 |
|----|------|

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|-------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|--|
| 総合計画 | 挑 戦 | ふるさとづくり | | | | | | | | | | | | |
| の 区 分 | 最優先課題 | 歴史・文化を未来に残す | | | | | | | | | | | | |
| 項 目 | 文化財の保存・活用（対馬藩関連遺産群保存活用計画の策定） | | | | | | | | | | | | | |
| 内 容 | 対馬藩関連遺産群のうち、金石城跡、旧金石城庭園の今後の保存・整備活用の方針を定めた保存活用計画を策定します。 | | | | | | | | | | | | | |
| 指 標 (数値目標) | <p>【達成年度】 今後の保存・活用方針を定めるため、保存活用計画を2年間で策定していきます。この2年間で、対馬藩関連遺産群（金石城跡、旧金石城庭園、対馬藩主宗家墓所、清水山城跡）のうち、金石城跡、旧金石城庭園の保存活用計画策定を目指します。</p> <p>【今年度】 「対馬藩関連遺産群保存整備委員会」を設置し、計画策定に向けた協議を行います。</p> | | | | | | | | | | | | | |
| 達成時期 | 令和3年3月 | | | | | | | | | | | | | |
| スケジュール | 取り組み | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| | 対馬藩関連遺産群保存活用計画策定 | | | | | | | | | | | | | |
| | 対馬藩関連遺産群保存整備委員会 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 46 |
| 個別 | 13-05 |

令和元年度 [教育委員会事務局] 組織目標

| | |
|----|------|
| 課名 | 文化財課 |
|----|------|

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--|-------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|--|
| 総合計画 | 挑 戦 | ふるさとづくり | | | | | | | | | | | | |
| の 区 分 | 最優先課題 | 歴史・文化を未来に残す | | | | | | | | | | | | |
| 項 目 | 文化財の保存・活用（赤米サミット・赤米交流事業の開催） | | | | | | | | | | | | | |
| 内 容 | <p>赤米栽培と、それに伴う行事が傳承されている岡山県総社市、鹿児島県南種子町、本市の3市町の関係者が一堂に会し、保存と活用について意見を交換し、友好と交流を深めるため、赤米サミットを本市で開催します。</p> <p>また、3市町の子どもの交流を深めるため、岡山県総社市、鹿児島県南種子町の子ども達を招き、「赤米交流事業」を開催します。</p> | | | | | | | | | | | | | |
| 指 標 (数値目標) | <p>赤米交流事業：8月上旬開催予定</p> <p>赤米サミット：11月中旬開催予定</p> | | | | | | | | | | | | | |
| 達成時期 | 令和2年3月 | | | | | | | | | | | | | |
| スケジュール | 取り組み | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| | 赤米交流事業の開催 | | | | | ● | | | | | | | | |
| | 赤米サミットの開催 | | | | | | | | ● | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |